

10. 防災の実績

○地域防災計画の改定

- ・平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災の様々な教訓・課題を踏まえ、市・県及び防災関係機関や公共・公益的団体と市民がその有する全機能を有効に発揮し、市域における災害の予防や応急対策及び復旧・復興対策を実施することにより、市民の生命、身体及び財産を保護することを目的として、平成9年3月に全面改定を行った。

○地震体験教室の実施

- ・市内の小学校4年生～6年生を対象に、VR地震体験シミュレーター機器を用いた地震体験教室を平成11年より毎年「防災とボランティア週間（1月15日～21日）」に合せて実施し、阪神・淡路大震災レベルの大地震が起こった場合の対処の仕方、避難の仕方を学んでいる。

※VR地震体験シミュレーター「VRES-3」は、ヘッドマウントディスプレイをつけてゲームパッドコントローラーを操作することで、コンピュータグラフィックが創り出す立体映像により、仮想空間で地震発生から消火や避難までを体験することができる装置



▲VR地震体験教室 平成20年撮影

○全市民参加型総合防災訓練の実施

- ・従来、各年度ごとに2会場のみで行っていた総合防災訓練は、市民の防災意識を高めるため、平成20年度より、市内全域で一斉に実施している。



▲総合防災訓練 平成19年撮影

○災害時要援護者台帳登録制度・家具転倒防止対策事業の実施

- ・平成17年8月より開始した家具転倒防止対策事業は、ボランティアにより主に高齢者世帯を対象に実施している。



▲家具転倒防止ボランティア 平成20年撮影

○その他

・防災ハンドブックの配布

平成18年4月に全世帯に配布（以降、転入届をされた世帯に窓口で配布）
地震・風水害対策や日頃からの備え、市の防災対策等について記載

・地震防災ハザードマップの配布

平成20年3月作成、窓口で配布

関ヶ原 — 養老断層系の活動による地震が発生した場合の本市で予想される震度分布
や被害状況をマップに示したもの



▲防災ハンドブック



▲地震防災ハザードマップ

・多チャンネル型地域防災無線＝各務原市地域防災無線

平成14・15年度 旧各務原市 整備

平成16年度 川島地区 整備（携帯型 269 個）

・各務原市災害情報スピーカー（同報系防災行政無線）

平成13・14年度 旧川島町 整備

平成18・19年度 旧各務原市地区 整備（屋外拡声子局 202 基設置）

各務原市災害情報スピーカー屋外拡声子局配置図

